

# 母子幼小運動会

例年の『母子運動会』は、最終演技「マイムマイム」(右写真)に代表されるように、永沢寺・母子地区との共催で行われ、みんなで一つの輪になって、小さい子どもからお年寄りの方まで、様々な年齢層が集う母子の一大行事でした。

今年は保護者の方や地域の方々からのお声を受け、10月8日(土)に開催しました。本来であれば永沢寺・母子地区との共催で、地域の方にも競技していただく予定でしたが新型コロナウイルス感染症対策がまだまだ必要な時期であったため、残念ながら競技・演技は母子幼稚園・母子小学校の園児・児童のみとなりました。しかしながら、お忙しい中たくさんの地域の方に来ていただき、子どもたちのがんばりを見ていただきました。



例年の「マイムマイム」の様子



入場行進の様子

今年のスローガンは、高学年が中心となって全校児童会で話し合った

## 心を燃やせ 全力で楽しむ 運動会

でした。母子幼稚園児・小学生が練習を積み重ねて本番をおかえました。



前日の雨の影響で肌寒い気候でしたが、早朝より保護者・地域の方々が大勢見に来られ、嬉しい運動会になりました。ラジオ体操を指揮する児童の呼びかけに対して保護者・地域の方々が一斉に立ち上がって一緒にラジオ体操をしている姿からは母子地域の一体感や絆を感じました。また、園児・児童の入退場や演技中の温かい手拍子や拍手からは、子どもたちを大切にしたいという熱い気持ちが伝わってきました。



閉会式後、体育館で一輪車演技「ハリーポッター」を披露したのですが、そこにも多くの方々の姿があり、子どもたちを見守る大きな愛を感じました。その後は、まるで当然のように後片付けを手伝ってくださる大勢の姿がありました。「子は親の鑑」と言いますが、こうした大人の姿を見て育つ子どもたちが優しくなるのは当然のことかもしれません。

